

2018年3月22日  
朝日放送株式会社

犯罪を繰り返す元受刑者の更生をめぐる報道で  
第25回坂田記念ジャーナリズム賞受賞

JR 下関駅を放火全焼させた元受刑者に密着したドキュメンタリーが、関西を拠点にした優れた報道活動を行ったジャーナリストを顕彰する第25回坂田記念ジャーナリズム賞(スクープ・企画報道部門)を受賞しました。

受賞の対象となったのは、JR 下関駅を放火全焼させた服役11回の男性を出所後から密着取材し、更生に必要なものとは何かを描きだしたドキュメンタリー「生き直したい」です。選定した公益財団法人坂田記念ジャーナリズム振興財団は、「孤立を防ぎ地域に人々を繋ぎとめることの大切さを改めて浮き彫りにした」と評しています。孤立や孤独をめぐるっては、イギリス政府が孤独担当大臣を設置するなど、孤独が生み出す社会的損失が世界的に課題となっています。

「坂田記念ジャーナリズム賞」は関西を拠点にした優れた報道活動に贈られる賞で、新聞・放送による報道活動を通じて関西の社会、文化の発展に寄与した故・坂田勝郎氏の遺志を実現するために設立されたものです。

「生き直したい」:2017年11月26日25時15分放送

報道局ニュース情報センター

「生き直したい」取材班(代表 藤田貴久)